

【ねがいましては】

平成23年9月26日

KYOWA SCHOOL

第251号

「恐怖心」

子どもたちを取り巻く環境、大きく分けて2ヶ所、学校と家庭との往復。

放課後という空間がさらに少なくなっていく環境にあって、子どもたちの生活は大きな2つのものになってきているようです。子どもも人間、毎日人間関係構築に悩み傷つき、少なからず心に傷を作りながら生活しています。

家族のもとを離れて集団生活を始める場が学校。そしてそれまでなかった戦いの日々が始まります。

幼稚園や保育園には成績がありません。比べるという感覚は少ない状態で時が流れます。それよりも友だちや先生と遊ぶ楽しさが彼らを取り巻いています。少なくともテストはほとんど無し。なぜなら管理する側には成績を作成する必要が無いからです。

そして小学校・・・◎・○・△・・・数字でなくても良い悪い、の分別は自然に作られていきます。そして100点、80点、50点・・・数字は嘘をつきません。別にサボったわけでもないのに数字に差がついてきて、100点は良い、0点は悪い・・・誰が教えずとも彼らは吸収していきます。周りのこころない一言や、ご家庭でのご家族の一言が、恐怖心を宿らせていきます。

特に男の子の場合、本能的なものがあるのでしょうか、勝ち負けに非常にこだわります。自分の置かれた位置にとっても神経質になります。クラスの中では特に顕著になります。毎日顔を合わせるわけですから、今日はあいつに勝つてやるとか、あいつには負けたくないとか、すべてに勝ち負けを挟み込もうとしてきます。人間関係を少しでも優位に保つための熾烈な争いの発生です。心は休む暇がありません。

ある子どもにひとつの案が浮かびます。強ければ安心していられる・・・。その強さを誇示するために、ある行動を取ります。ちょっかいです。つんつんとつつく・・・相手の反応を見て、こいつは強そうなヤツか、それとも弱そうなヤツか・・・。だんだんエスカレートすると、先手必勝、先にちょっかいを出せば優位に立てそうだ・・・。

常にビクビクオロオロした状態の子は、心休まることなく不安な日々を送ります。恐怖心はさらに積もっていきます。そのムードは一気にクラスじゅうに広がります。不安な子たちが渦巻いているわけですから、もう良し悪しなど冷静に判断している場合ではありません。学級崩壊の始まり・・・？

ここへ入ってくる子どもたちの多くが恐怖心を抱いたまま入ってきます。勉強であったり、人間関係であったり、勉強の恐怖は少なからず人が関わっています。悪いと思われてしまう点などを取って、周りからこころないことばを浴びてしまったことなどが原因です。「私は何をやってもできない子なのだ・・・。」

時間が経つにつれ、彼らに共通した変化が現れ始めます。安心感に包まれた表情です。ここではテストや成績など、競争に繋がるものは一切ありません。この表情の変化は劇的なものです。こころに落ち着きが出ますので、自然と集中力も上がってきます。恐怖心を抱いたままの子は、ほんのわずかな刺激にも敏感に反応します。結果、集中できません。

小学校入学時から、その恐怖心を抱いたまま長時間経過してしまいますと、当然勉強への基本的な心構えも、それが当たり前になっていますので、本人はやっているつもりでも、実は全く身につけていません。心の土台に大きな差が生じてしまったのです。本人がそれを理解するのはかなり難しいことです。そのまま机に向かい続けても、なかなか結果（学校でのテスト）が伴いません。ご家庭では当然ご家族がイライラし始めます。そして・・・。当の本人にせつかく宿ろうとしていた前向きな心は、また後ろ向きへ・・・。

勉強するとはどういう心の状態なのだろう・・・最初から安心感に包まれながら学んできた子は、どのような勉強でも、わりとスムーズに入っていきます。恐怖心の中、学び続けてきた子の場合、そう簡単には入っていきません。なぜなら常に『どうしよう』という不安がつきまとっているからです。

成績は大人たちが作ったシステム。テストをし、点数をつけるシステムをつくったのも大人たち。競争を強いられ、それに無頓着に馴染んできた子たちは良いけれど、敏感に反応するようになった子たちは、皆、本来の勉強の持っている楽しさを感じることなく、代わりに恐怖心をいただきながら学校生活を続けていきます。

このこころのギャップは勉強に大きなハンデを与えてしまいます。

まずはこころの基本から・・・学校では助け合いながら生活するのが基本。だから勝ったの負けたのと、こだわる必要もないのです。100点とったら「へへっ、こんなのまぐれだよ。」・・・0点とったら「どんまいどんまい、こんどがあるよ。」・・・。みんなで助けあって支えあって登っていこうよ。1番がえらいんじゃない。歯食いしばって、真剣に生きようとする子がえらいんだ。

そしてもっと大切なことに気がつくようになろう。

生きるってどういうことだろう。

生きるって生きようとするんだよ。今を精一杯に生きようとするんだよ。

けっして「逃げ」や「楽」を使っちゃダメなのさ。

だってそれを使ったら、一番悲しむのは『家族』だから・・・『家族』大切にしようね！ 大切なことわかったね！